

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：四国地方整備局道路部地域道路課

担当課長名：恒石 和義

事業名	主要地方道 <small>こうちきたかんじょう</small> 高知北環状線	事業区分	地方道	事業主体	高知県
起終点	自： <small>こうち こうち あその</small> 高知県高知市薊野 至： <small>こうち こうち たかす</small> 高知県高知市高須			延長	3.9 km
事業概要	主要地方道 高知北環状線 <small>あその たかす</small> 薊野～高須工区は、高知東部自動車道の側道としての幹線道路網構築と、高知新港から高知 I・C に接続する産業道路の整備を目的とした、延長約 3.9 km の道路改築事業である。				
H6年度事業化	H2年度都市計画決定 (H 年度変更)	H5年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	約 375 億円	事業進捗率	98%	供用済延長	3.5 km
計画交通量	30,200 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.3 (残事業) 16.0	総費用 (残事業)/ (事業全体) 7/485 億円 事業費：7/482 億円 維持管理費：0/3 億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 112/1,096 億円 走行時間短縮便益：110/1,073 億円 走行費用減少便益：2/23 億円 交通事故減少便益：0/0 億円	基準年 平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（高知自動車道から高知新港へのアクセスが向上する） ・国土・地域ネットワークの構築（渋滞ポイント（国道32号葛島交差点）を避ける新たなルート構築）他12項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	高知北環状線は、高知自動車道、高知東部自動車道に接続するとともに、高知市北部から高知新港までを環状に結ぶ幹線道路であり、物流の効率化による産業・観光の発展および高知市周辺の慢性的な渋滞緩和に大きく貢献することが期待されている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成11年3月の高知自動車道（南国～伊野間）の開通。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業は順調に進んでおり、一部店舗補償と橋梁上部工が残っている。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成16年度中に用地補償を終了し、残工事の工事を進め、平成17年度末に全線供用予定である。				
施設の構造や工法の変更等	特になし。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

事業概要図



凡例	
供用中	—————
事業中	■■■■■
再評価対象事業	///////
うち供用中	///////
調査中	○○○○○

